

2021
1月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第197号①【基準日 2020年12月30日】



社長メッセージ



資産運用は一生継続



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別なご高配を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。本年も皆さまのご期待に応えられるように、役職員一同、精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によって振り回された激動の1年になりました。世界経済はかつてない程大きく落ち込みましたが、各国政府・中央銀行による財政支出・金融緩和によってマーケットは下支えされ、世界の株式市場は大きく上昇し回復しました。また、先月12月のマーケットは、新型コロナウイルスのワクチン接種が欧米で開始されたことによる景気回復期待や英国EU通商協定が合意される見通しとなったことにより年末にかけて上昇いたしました。特に米国ではNYダウが30,000ドル、ナスダックが12,600を突破して史上最高値を更新しました。一方、日本株についても日経平均株価は27000円台を回復し30年ぶりの高値を付けて上昇して1年間の取引を終えました。

そのような中で、皆さまの「ありがとうファンド」は、様々な国・地域に国際分散し、厳選された質の高い価値ある資産に投資することによってリスクを抑えながら運用した結果、年間で16.0%上昇して過去最高値を更新いたしました。12月月間でも4.5%上昇し、ともに世界株指数に対してアウトパフォームいたしました。



今後のマーケットの見通しについてですが、新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ世界経済の回復は、感染収束の時期や有効なワクチンや治療薬の開発・普及に大きく左右されると思われれます。一方で、各国政府・中央銀行による財政支出と金融緩和によって低金利・過剰流動性が継続することで株式市場は下支えされると見ております。ただし、将来の景気・業績回復期待を織り込んで上昇している株式市場と実体経済の乖離が広がっている点は、リスク要因として注意する必要があると考えております。しばらくは適温相場の状態が続く可能性がありますが、景気や企業業績の回復が期待通りに進まない、ファンダメンタルズから見た割高感から、大きく調整する可能性もあり、ボラティリティの高い相場状況が今年も続くと思われれます。また、国・地域ごとに景気回復に差が出てくる可能性が高くなると思われるので、国際分散投資による分散効果がより期待できると考えております。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

再び緊急事態宣言が出される見通し

さて、日本国内においては冬になって寒くなってきたこともあり新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、再び緊急事態宣言が1都3県に出される見通しになりました。9月以降、ウィズコロナの新しい生活様式のもと経済活動が徐々に回復してきた中での急ブレーキです。感染者の増加による医療体制の逼迫が喫緊の課題である一方で、緊急事態宣言による経済的な影響も懸念されています。

特にコロナで大きな影響を受けているいわゆる「コロナ7業種」(飲食、宿泊、陸運、小売り、生活関連、娯楽、医療福祉)については業績悪化による赤字、倒産、廃業、失業者や自殺者の増加など深刻な影響が懸念されており、新型コロナウイルスによる直接的な被害よりも、緊急事態宣言という厳しい抑圧策を継続することによる間接的な被害・損失の方がはるかに大きくなるという見方もあります。日々の生活がかかっている人にとってはまさに死活問題なので難しい舵取りが求められています。



昨年から続いているコロナ禍ですが、感染者数、死者数で言えば海外、特に欧米での被害が大きい一方で、日本の感染者数は海外や季節性インフルエンザ(毎年約1000万人感染)との比較でも圧倒的に少なく、死者数も毎年の季節性インフルエンザとその関連死の人数よりも少ないのが現状です。日本においては、ウイルスの感染力で言えば季節性インフルエンザの方がはるかに強いことがわかります。(年間1000万人の感染だと一日当たり約3万人ペースで感染する計算になります)

感染してもほとんどの人が無症状か軽症で重症化リスクがあるのは高齢者と基礎疾患のある人ということもわかってきており、1月5日時点で累計約25万3千人が感染して約20万6千人が退院・回復しています。亡くなった方は3755人です。ワクチンも治療薬もあるのに季節性インフルエンザとその関連死で毎年亡くなる人は約1万人もいるので、新型コロナウイルスに感染することだけを過度に恐れなくてもよいのではないかと思います。

どれだけ注意していても感染してしまう可能性は誰にでもあります。世界中に感染がここまで広がれば、人類が生活しグローバルに経済活動を続けていく限り、もはやウイルスを完全に根絶することはできないので、有効なワクチンの普及か、ある程度の人数が感染することによる集団免疫の獲得によって、旧型コロナウイルスと同様にウイルスと共生していくしかないと思われれます。また、死者数が少なく、医療体制が現在逼迫している日本では、指定感染症の区分を変更するなどして、無症状者の入院・隔離に貴重な医療資源は使わず、重症者や重症化リスクの高い感染者の治療に医療資源を集中するようにシフトしていくことが現実的な対応であると思われれます。



テレビのニュースやワイドショー、ネットを見ていると誰でもとても不安な気持ちになりますが、日々の感染者数に一喜一憂せず、新型コロナウイルスのリスクを正しく評価・比較分析して、過度に恐れることなく、自分でできる感染防止対策(マスク着用、手洗い、うがい)を徹底した上で、皆が過度に自粛せず、それぞれ普段通りの生活(勉強、仕事、家事・育児、運動、娯楽など)を粛々と営んでいくことが、私達の自然免疫力を高め、暮らしと社会を守り、経済活動を正常化させていくことにつながっていくのではないかと思います。

資産運用は一生継続するので目標に向かって継続していくことが大切

個人の資産運用は5年、10年と区切りがあつて終わるわけではなく、皆さまが生きている限り一生継続していくものです。

20代の社会人になったばかりの人も、働き盛りの30代～40代も、老後資金準備を意識し始める50代も、定年を迎える60代も、年金生活を送っている70代以降も保有金融資産をどのように運用・管理していくかは大切なことです。現役世代の方は将来に向けての老後資産作りをしていくのが目標になると思いますし、定年後の方は退職金も含めて今ある金融資産をどのように運用・管理しながら利用していくかが大きな課題であり、資産運用の目的・目標になるでしょう。

資産運用を長期で継続している間には様々な事が起こります。景気循環による市場の上昇局面や下落局面はもちろん、バブル経済や大暴落も発生したりします。また、現在の新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックや大きな自然災害や戦争・テロなども経験することになるかもしれませんが、皆さま一人一人の資産運用の目標が大きく変わるわけではありません。



資産運用で大切なことは、ライフプランに基づいて、目的・目標に向かって価値あるものに国際分散投資して長期で継続していくことです。投資をする際には、マーケットが上昇局面でも下落局面でも投資を継続することによる時間分散効果でリスクを低減することが重要になってきます。そして、将来お金が必要になった時には計画的に換金して使っていくことが、これからの人生100年時代の資産運用においてとても大切になってくるでしょう。

弊社では、お客様の資産運用を一生サポートさせていただければと考えております。引き続き「ありがとうファンド」1本のみを大切に運用し、長期国際分散・厳選投資で安定した運用成果の提供を目指して参ります。

また、税理士・公認会計士が立ち上げた独立系の資産運用会社として、お客様の資産運用からFP・ライフプランニング、資産承継、税金・相続問題の解決まで専門家ネットワークを活用しながらお客さまをサポートして参ります。

良い時も悪い時も皆さまと資産運用の目標を目指して、一緒に伴走していければと思っておりますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします！



🌸 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	19,362円	+18.8%
3年	18,619円	+23.6%
5年	17,489円	+31.5%
10年	13,346円	+72.4%
初回(2004年10月)から	11,797円	+95.0%



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	14万2572円
3年	36万円	44万4787円
5年	60万円	78万9226円
10年	120万円	206万8409円
初回(2004年10月)から	195万円	380万2353円

2020年12月30日現在(基準価額:23,004円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

🌸 特定口座年間取引報告書交付のお知らせ

特定口座にて2020年に『ありがとうファンド』を換金されているお客さまには、「令和2年分 特定口座年間取引報告書」を郵送および電子交付させていただきました。

「特定口座年間取引報告書」は、昨年中に特定口座内で換金された『ありがとうファンド』の譲渡の対価の額(収入額)、取得費および譲渡に要した費用の額などを記載しており、該当する年間の譲渡損益等を集計した報告書です。

尚、電子交付サービスに同意されているお客さまの場合、「特定口座年間取引報告書」はマイページ上でのご確認となり、郵送されません。

☆特定口座年間取引報告書の交付方法一覧

電子交付の同意	交付方法
あり	電子交付 (マイページ上での確認)
なし	郵送

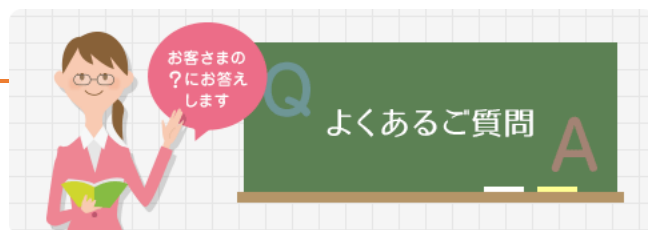
尚、次のお客さまは、同報告書が作成されませんので予めご了承ください。

換金をされていないお客さま

一般口座で換金をされたお客さま

🌸 今月の39Q&Aコーナー

【積立投資について】



現在、年金生活をしているけど、積立投資はした方がよいのかしら？

定年退職後の年金生活者でも、生活費とまとまった支出に備える預貯金以外の当面使う予定のない余裕資金を資産運用していくことは、平均寿命が延びている人生100年時代では長生きリスクに備える意味で大切になってきます。

余裕資金を資産運用していく際には積立投資(定期積立サービス)がおすすめです。自分で投資タイミングを計らなくてもよく、時間分散投資でリスクを抑えることができます。

また、弊社では一定期間に分割して時間分散投資していく「分割購入サービス」もあります。こちらは、まとまった資金をご指定の期間、毎月分割して積立投資していくので計画が立てやすいのが特徴です。

積立投資した余裕資金は定期的に換金(定期換金サービス)して自分で使ったり、使い切れないうちは将来的にお子さま、お孫さまに資産承継(生前贈与、相続)して、次の世代に引き継いで資産運用を継続していくこともできます。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2021年 1月分	12月3日(木)	12月23日(水)	1月6日(水)	1月15日(金)	1月19日(火)
2021年 2月分	1月5日(火)	1月27日(水)	2月8日(月)	2月17日(水)	2月19日(金)
2021年 3月分	2月4日(木)	2月24日(水)	3月8日(月)	3月16日(火)	3月18日(木)
2021年 4月分	3月4日(木)	3月25日(木)	4月6日(火)	4月14日(水)	4月16日(金)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

1月	18日(月)	キング牧師誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
2月	15日(月)	ワシントン誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日
3月	-	-	-



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%)以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区千代田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。